

Sant' Eustachio®
il caffè
dal 1938 a Roma



グアテマラのエクオエソリダ - レコーヒー

-アルトロメルカートより輸入、カフェ サンエウスタキオの自家焙煎-

ASOCIACION CHAJULENSE VA'L VAQ QUYOL (チャフレンセヴァルヴァククヨル協会 - 1つの声の意) は口ゾリーノ神父の無条件な支援により、サンガスパーチャフル村の近隣で結成されました。キチエ県クチュマタナス山脈で協会はマヤの人々の生活向上を目的として活動しています。貧困、さらに80年代には**武闘闘争**も起こり、伝統の農業と牧業の発展も妨げられました。グアテマラ軍のマヤに対する悲惨な暴力行為はインディオスキチエマヤ族の女流作家「私の名はリゴベルタマンチュウ」という本で語られており、1992年にノーベル平和賞を受賞しました。

チャフルの92・5%は原住民、57・8%は17歳以下です。現在チャフレンセヴァルヴァククヨル協会は、**小規模ですが数多くのコミュニティ**が手製織物、手芸品、コーヒーなどに関する企画運営を行っています。農作物の95%は自給自足分で、5%が販売用、コーヒーは80%が利益になります。CTMの協力で協会はコミュニティセンターとIXIL文化研究所を建てる為に融資を受けることができました。今日、コミュニティではコーヒー、カルダモン、チーズ、蜂蜜と手織工芸品を生産しており、観光客用の簡易宿が整備され、コミュニティ用にラジオ放送局もあります。しかし飲み水はとても少なく、病気にかかると死亡率がとても高くまだ多くの問題が残っています。

この地域の**コーヒー栽培**は主に標高1200m~1300m間で行われており、200年以上の伝統があります。世界中で名高い**アラビカ種100%**です。1990年グアテマラ軍により破壊されたコーヒープランテーションを立ち上げ、コーヒー精製所も設立しました。この場所でコーヒーの豆を包んでいるベルガミーノと呼ばれる皮をむきます。この作業をすることでコミュニティは仲買人をとらずに直接外国へ売ることができます。1989年まではベルガミーノ(銀皮)がついた豆だったのでとても安い値段で買い取られていました。そして今ではこのコーヒーはNaturelandに認定されています。

ALTOMERCATO (アルトロメルカート) とは・・・

CTMアルトロメルカートとは120の団体からなる非営利目的の事業団で、エクオエソリダレ(公正取引)を広め、助成、促進をしています。活動はアフリカ、アジア、中南米の農業者、職人達の団体からなる協同組合を通して、融資、その地域の特産物、食品、手工芸品などの販売を行い、世界南北間の経済問題について情報収集し、その解決を目指しています。15年の活動歴で、今までに40か国150の生産者達のグループに共同事業を計画してきました。発展途上国の製品を適正な価格で購入すること、労働に釣り合った賃金を保証し、生産者側と直接的な共同関係を持続的に築き、注文分の50%までを前払いすることにも同意しています。1989年に北イタリアのボルツァーノ市で数人の人と協会が一緒になって始めたのが最初で、現在CTMは世界で118の店と、イタリアでは230の売店を持ち、200人以上を雇い、約3000人ものボランティアを支えられています。2003年には売り上げ高3千万ユーロ、前年と比較で30%の成長率で、今のところイタリアの公正取引事業団では最大の組織と言えます。(世界第2位)